

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

1 開会

司会（渡部課長）

皆様こんにちは。定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。本日は大変お忙しい中、年度末の忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます健康医療課長の渡部と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

それではただいまから、令和5年度第4回久喜市健康増進・食育推進会議を開催させていただきます。会議は健康増進・食育推進会議条例第7条第2項の規定によりまして、委員の過半数の出席が必要となりますが、現在出席委員は15人で、過半数に達しております。また、岡田委員、中野委員におかれましては、遅れて出席するとのご連絡をいただいております。

続きまして、会議につきましては、審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づきまして、公開とさせていただきます。現在のところ傍聴の方はおられません。また、会議録作成のため、録音をしておりますが、会議録につきましては、ほぼ全文記録で作成いたしまして、確認及び署名につきましては、石崎会長にお願いしたいと存じます。

続きまして、本日の会議の終了予定時刻でございますが、2時45分とさせていただきますと考えておりますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

2 あいさつ

司会（渡部課長）

それでは、次第に基づきまして、会議を進めさせていただきます。次第2の挨拶でございます。開会にあたりまして、石崎会長からごあいさつをいただきたいと存じます。

石崎会長よろしくお願ひいたします。

石崎会長

（会長あいさつ）

司会（渡部課長）

石崎会長ありがとうございました。

続きまして、本日の配付資料を確認させていただきますと存じます。

司会（渡部課長）

事前に送付させていただきました資料ですが、8点ございます。

1. 第4回会議次第
2. 委員名簿
3. 久喜市健康増進・食育推進会議条例
4. 傍聴要領
5. 資料1-1 市民意見提出制度（パブリック・コメント）で寄せられたご意見について（対応表）
6. 資料1-2 庁内連絡会議及び作業部会（書面会議）で寄せられた意見について（対応表）
7. 資料2 計画（案）の修正箇所
8. 資料3 第3次久喜市健康増進・食育推進計画 第2次久喜市自殺対策計画（案）

以上8点になりますが、配布した資料で漏れ等がないでしょうか。お手元にすべてお揃いでしょうか。

3 議題

司会（渡部課長）

それでは、次第3の議題に移らせていただきます。

議事の進行につきましては、久喜市健康増進・食育推進会議条例第7条第1項の規定によりまして、石崎会長にお願いしたいと存じます。石崎会長よろしくお願いいたします。

市民意見提出制度及び庁内会議の報告、最終案について

議長（石崎会長）

はい、それではしばらくの間議長を務めさせていただきます。会議が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、市民意見提出制度及び庁内会議の報告、最終案につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局(加藤主幹)

はい。それでは市民意見提出制度（パブリック・コメント）及び庁内会議の報告と最終案につきましてご説明させていただきます。このまま着座で失礼させていただきます。

まずそれぞれの資料についてご説明させていただきます。資料1-1をご覧ください。こちらは計画の素案につきまして、令和6年1月12日から2月13日にかけてパブリック・コメントを実施いたしましたところ、2名の方から4件のご意見が提出されました。この資料1-1に

は、左から順に、計画のどの部分に当たるか、分野がどこか、該当するページ、いただいたご意見、それに対する市の対応、計画の修正の有無、修正がある場合の修正箇所と記載しております。こちらにあります内容につきましては、今後、市ホームページに掲載する予定となっております。

次に資料1-2をご覧ください。こちらは庁内連絡会議及び作業部会を书面開催いたしまして、計画の素案についての庁内各課から提出された意見をまとめたものでございます。こちらの表の作りは先ほどの資料1と同じとなっております。

次に、資料2をご覧ください。こちらは資料1-1と資料1-2の中の修正があった箇所について、該当するところを示したものでございます。

次に資料3をご覧ください。こちらはこれまで資料1と資料2で出てきました修正点を反映させた最終案となります。

それではお戻りいただきまして資料1-1をご覧ください。上から順にパブリック・コメントで寄せられたご意見についてご説明させていただきます。

1点目の計画全体について、市の組織機構改革が令和6年度に予定されておりますが、それについて担当課名が変更になることから、課名を併記するなどわかりやすくする必要があるのでないかというご意見でした。

これにつきましては、パブリック・コメントで素案をお出しする際には、その時点での課名を記載させていただいておりましたが、今後計画を策定する際には、新しい組織に合わせて、取組みの所管課の課名については変更させていただきたいと考えております。

次に2点目ですが、民間企業等との包括連携協定について、具体的な取組みについて教えて欲しいというご意見がございました。

これにつきましては、ライザップとの協定やモラージュ菖蒲との協力によって実施しているイベントなどの具体的な取組み内容の事例を挙げさせていただいております。こちらについては特に計画の修正はございません。

次に3点目です。栄養・食生活と身体活動の分野について、骨粗しょう症についての記載がほとんどないというご意見がございました。

こちらの対応につきましては、資料3の67ページにこちらの市の取

組みの一番上の取り組み内容としまして、「食育月間等に合わせて、バランスの良い食生活の実践に繋がる周知啓発の実施」という取り組みがありますが、こちらの取り組みの中には、骨の健康チェックや骨粗しょう症予防講座といった骨粗しょう症に対する取り組みが含まれております。

また、運動について、同じく資料3の71ページをお開きください。こちらの71ページに市の取り組み①として、「日常的な運動習慣の定着を推進します。」ということで、様々な市の取り組み内容を挙げさせていただいておりますが、こうした取り組みを行うことが、骨粗しょう症予防にも繋がるものと考えられます。修正を課する箇所としましては、資料2の66ページをご覧ください。下半分にコラムを掲載しておりますが、その四角の中に修正①とございます。太字で記載しているところですが、骨粗しょう症という言葉をごここにしております。修正①の箇所に食生活の乱れによる影響の1つとして骨粗しょう症を加えております。

次に、資料2の70ページをお開きください。こちらにも+10（プラス・テン）に関するコラムがありますが、こちらに修正①といたしまして、「身体活動不足は骨粗しょう症の要因の一つでもあります。」ということを加筆させていただいております。3点目のご意見につきましてはこちらの2ヶ所の修正を行いたいと思います。

次に4点目、最後のご意見ですが、骨粗しょう症検診はこれまでどの頻度で実施され受診率はどの程度でしょうかというご質問になっております。こちらは保健センターにおきまして、毎年20歳以上の方を対象とした骨の健康チェックを開催しておりますので、対応としましては、その実施状況を記載させていただいております。こちらにつきまして修正は特にございませぬ。

資料1-1につきましては以上でございます。

次に資料1-2をご覧ください。資料1-2の上から順にご説明させていただきます。1つ目の食の安心・安全の分野で、「久喜産」としていた表記を、「久喜市産」に統一をいたします。修正箇所ですが、資料2の46ページをご覧ください。46ページに修正②として2ヶ所ございます。久喜産となっていたものを久喜市産に統一させていただきます。同様に資料2の52ページ、53ページ、102～105ページ、131ページをこちらと同じように文言の統一をさせていただいております。

では、資料1-2にお戻りください。2つ目の循環器病・糖尿病・COPDの分野になります。「(1) 1人当たりの国民健康保険の医療費」と記載していた部分を、「(1) 国民健康保険の1人当たり医療費」に文言を修正させていただきます。また、(2)の中で、「特定健康診査」を「特定健康診査受診率」に文言の整理をいたします。修正箇所につきましては、資料2をご覧ください。資料2の50ページに2ヶ所修正③と、四角で囲んであるところがございます。このような形で文言の修正をさせていただきたいと思っております。

では、資料の1-2にお戻りください。上から3行目の歯・口腔の健康の分野で、漢字で「虫歯」としている箇所がございましたので、これをひらがなと漢字の「むし歯」の表記に統一いたします。修正箇所につきましては、資料2の52ページをご覧ください。52ページの中ほどの少し上のあたりに、修正④としております。58ページも同様に、漢字の表記からひらがなと漢字のむし歯に表記を統一させていただいております。

では、資料1-2にお戻りください。栄養・食生活の分野で、全体の表現を合わせるために、「栄養バランスのとれた」と書いていたところを、「栄養バランスの良い」という表現に修正いたしました。修正箇所につきましては、資料2の67ページをご覧ください。市の取組みの四角の中ほどに修正⑤とございます。このような形で「栄養バランスの良い」という表現に修正いたしました。68ページにも同様な箇所がございますので、同じように修正しております。

では資料1-2にお戻りください。上から5行目の身体活動・運動の分野、主要なスポーツイベント大会への参加者数の指標のところ、これまでの素案ですと「現状値の数値」に「以上」とついていたものを、「目標値」に「以上」とつけるように修正しております。修正箇所につきましては、資料2の72ページをお開きください。資料2の72ページで修正⑥となっているところです。指標の上から2つ目です。太字で現状値、目標値のところを修正しております。同様に123ページ、128ページについても同じように修正しております。

恐れ入りますが、資料1-2にお戻りください。次に循環器病・糖尿病・COPDの分野で、市の取組みの特定保健指導につきまして、3つに分けて記載をしていたところの文言を整理させていただいております。修正箇所につきましては、資料2の88ページをお開きください。

市の取組みの2行目のところに修正⑦としております。文言をこのように修正しております。

恐れ入りますが、資料1-2にお戻りください。循環器病・糖尿病・COPDの分野で、達成目標の中で、「特定保健指導受診率」となっていたものを、「特定保健指導実施率」と文言を修正しております。修正箇所は、資料2の89ページの達成目標の2行目に修正⑧ということで修正しております。こちらにつきましては130ページも同様に修正しております。

次に、資料1-2にお戻りください。一番下の休養・睡眠・こころの健康の分野についてですが、指標の中のいきいきデイサービスに関するものについて、「いきいきデイサービス年間実利用者数」に統一しております。修正箇所につきましては、資料2の93ページをお開きください。93ページの指標の中で修正⑨としております。この指標が他のページにも出てきておまして、123ページ、129ページ、132ページも同様に修正をしております。

では、資料1-2の2枚目をご覧ください。食の安全・安心の分野について、指標の中の「久喜市産農産物を使用した保育園給食の提供数」について、これまで指標としておりましたが、担当課から、こちらについては米以外の久喜市産農産物については、各保育園で納品の有無が異なり集計が困難であり、指標とするには不相当であるとの申し出がございまして、今回は指標からは削除させていただきました。該当するページにつきましては、資料2の104ページ、131ページでございまして、こちらからは削除させていただきました。この久喜市産の農産物の使用につきましては、学校給食についてはセンター方式でやっておりますので、これまで通りとしていきたいと考えております。

資料1-2に再びお戻りいただきまして、141ページのところで、組織機構改革に伴って課名を直すべきという意見が庁内から出ていますが、これにつきましては、資料2の141ページをお開きください。こちらは久喜市健康増進・食育推進庁内連絡会議規程の別表になっておまして、この表について、令和6年度から所管課が変わることになりますが、今回この素案の中に掲載しているのは、計画策定に当たる体制を示すものでございまして、令和5年度策定時点での組織に合わせて記載しております。そのため今回は修正はなしとしております。

また資料1-2にお戻りください。最後の行になります。

事務局(加藤主幹)

循環器病・糖尿病・COPDの分野で、「内臓脂肪症候群」の漢字が誤っておりましたので、正しい漢字に修正をさせていただいております。修正箇所につきましては、資料2の147ページになります。修正⑩ということで漢字を正しいものに修正しております。

また、資料3の57ページをお開きください。こちらは計画の体系図になっておりますが、ページが両面に分かれてしまっております。こちらは、今後、見開きの形で見ていただけるような形に修正いたします。

修正箇所としては以上となります。今見開きになってない部分がありますが、そちらも反映して、資料3を最終案とさせていただきたいと考えております。

ここで、「ユニボイス(Uni-Voice)」というもののご紹介をさせていただきたいと思っております。資料3の表紙の裏面をご覧くださいと思います。

表紙の裏面に説明が入っておりますが、久喜市では視覚障がい者へ向けて情報を提供するため、印刷物にユニボイスの2次元コードをつけさせていただいております。専用の機器もしくは専用アプリをスマートフォンにダウンロードして2次元コードを読み込んでいただくと、該当するページの内容を読み上げる仕組みとなっております。今回お配りした資料につきましては、まだ各ページにこの2次元コードが入っておりませんが、完成版では各ページに記載し、読み上げ機能をつけるようにしたいと考えております。

資料のご説明については以上となります。

議長(石崎会長)

はい、ありがとうございました。

ただいま事務局から、市民意見提出制度及び庁内会議の報告、最終案につきまして説明がありました。ご質問ご意見などございましたら挙手をお願いいたします。

小川委員お願いいたします。

小川委員

民間企業等の包括連携協定について、ライザップとの包括連携協定は、具体的な取組みについてこれから検討をすることですが、ホームページで情報をみると、契約は今年の4月となっております。ほぼ1年経過しているわけですが、これまでの実績はあるのですか。

事務局(加藤主幹)

連携協定を庁内で取りまとめている担当課がありますが、まだ年度途中ということで、今のところまだ実績の報告はございません。来年度以降、また改めて照会があるかと思いますが、私どもが確認した時点では、まだ実績はないとの回答でした。大変良い取り組みだと思っておりますので、これから関係課でこういった活用ができるかということを検討していくことになるかと思っております。

小川委員

ホームページ上でライザップと締結した他の自治体を調べてみますと、対象としては働き盛りの世代、あるいは高齢者向け世代と、色々な世代に向けた健康講座や健康運動講座など実施をされており、すごく市民にとってはありがたいものだと思います。ぜひ有効な方法を考えていただければと思います。例えばウォーキングでも効率的に安全に行うためには専門家の指導があった方が望ましいと思っておりますので、なるべく多くの市民を対象とした健康運動講座、健康講座を実施していただければと思います。

また、モラージュ菖蒲の協力によるスポーツイベントや明治安田生命保険相互会社によるスポーツイベントとありますが、具体的にはどのようなことをされているのですか。

事務局(加藤主幹)

例えば明治安田生命につきましては、今年度、健康医療課で秋にイベントを開催した際にブースを出していただきまして、ベジチェックという野菜をどれ程度摂取しているか確認がとれるものや、血管年齢の測定をしていただき、多くの市民の皆様にはブースにお立ち寄りいただき、今後の健康づくりに生かしていただける内容となったと思います。

小川委員

わかりました。ありがとうございます。

議長(石崎会長)

はい、ありがとうございました。他にご意見等よろしいでしょうか。

4 その他

議長(石崎会長)

では、続きまして次第4その他に移らせていただきます。こちらに最終案をお示しいただいているところですが、本日は少しお時間もございます。最終案については前回の会議でも活発にご意見をいただきましたが、計画に対するご所感ご感想等で結構ですので、委員の皆様

議長（石崎会長） ぜひご発言いただきたいと思っております。お1人1分程度の短い時間となりますが、小川委員から時計回りで順にお願いしたいと存じます。

小川委員 わからない点がいくつかあったので質問させていただきます。健康増進計画の72ページにある身体活動・運動の達成目標について、12月の会議の際に、高齢者についても達成目標を立てた方がいいのではないかということを提案させていただきましたが、その後、市の対応、方針として高齢者は除くという回答であったかと思えます。その際には、高齢者には運動習慣者が多いから、高齢者についての達成目標を立てないということだったと思いますが、その理解でよろしいでしょうか。

事務局(加藤主幹) 高齢者の方を省くということよりも、市民意識調査の際に20代から50代にかけて運動習慣がついていない市民が多いという結果でありましたので、特にこの世代を注目したいと考えました。高齢者の方についても、どれくらい運動されているかを確認したいところではありますので、それは市民意識調査の中で確認はさせていただきたいと思っております。達成目標としては特に着目したい世代に絞らせていただいております。

小川委員 私としては少し理解できないです。特に若者の中で運動不足、運動習慣者が少ないというのは確かに大きな問題だと思いますが、これは高齢者にとってもすごく身近な問題です。この計画は10年以上の計画だと思いますが、この10年間運動するかしらないかというのは健康寿命に直結することなので、すごく重要なことであると思えます。また、意見書にも書かせていただきましたが、多分この傾向というのは、他の地域でも同じで、国の出している説明資料の中にも書いてありますし、高齢者の方が運動習慣の目標が高く設定しております。私としては、本当は達成目標に入れた方が良いのではないかという意見です。

事務局(加藤主幹) 今回は特に運動習慣がついていない世代に着目したいということで年代を絞らせていただいておりますが、若い世代から運動習慣をつけていくことで、ご高齢になっても、それまでの運動習慣があれば健康につながるのではないかということもあり、ここの世代を特に取り上げたところではあります。高齢者についても、その方によって動ける範囲も異

事務局(加藤主幹)

なることもあるかと思しますので、そこは市民意識調査の中で、高齢者の方を含むすべての世代の方について、運動習慣、どのような運動をしているかについて中間の見直しのタイミングで確認させていただきたいとは考えております。

小川委員

はい、わかりました。ただ、どちらにしてもアンケート調査を行って検討するのであれば、達成目標に設定した方が良いのではないかというのが私の意見ですが、市としてそういう方針だということであればわかりました。

議長(石崎会長)

はい、ありがとうございます。では、中野委員お願いいたします。

中野委員

私は広報を見るのがとても好きで、よくチェックして何か良いイベントがあると参加させていただいていますが、72ページの4番の「主要なスポーツイベント大会への参加者数」という指標が目標値に比べて、現状値が少ないと感じ、少し残念だなと思っていました。私はヨガなどをするのも好きで、あまり道具のいらぬ個人でも参加しやすいようなイベントもあると良いと感じています。

また、周知の仕方に関して、私は広報を読みますが、やはり若い人たちに向けて周知の仕方もう少し色々あると良いと感じています。以上です。

議長(石崎会長)

はい、ありがとうございました。では、加藤委員お願いいたします。

加藤委員

運動するにあたり、色々なやり方があると思いますが、地域格差があり、コロナもあり、家からなかなか出てこない、そういう傾向が今までありました。また、地域におかれまして、体育系の資格を持っている方が近くにいるいないとでは大分格差があります。また、区長が非常に活発に動いているところと、あまり動きのないところと、そういった地域格差が非常にあると思います。私もソフトボールや、高齢者ではゲートボールなどの大会があるので、周りに声をかけて、1人でも多くの方が参加して鬱憤ばらしや世間話なども含めて、運動と合わせて地域社会を明るくしていくことが良いと思います。よろしく申し上げます。

議長（石崎会長）

ありがとうございます。では、岡田委員よろしく願いいたします。

岡田委員

久喜市が一生懸命イベント等をたくさんやってくれていることを私は委員になって知り、少し恥ずかしく思っておりました。近所には新しい家がたくさん建ち始め、新しい方がたくさん久喜市に来ると思うので、やはりどんどん周知をし、たくさんの人にイベント等に参加していただければと思いますのでよろしくお願い致します。以上です。

議長（石崎会長）

ありがとうございます。では、佐藤委員お願いいたします。

佐藤委員

大変立派な冊子にまとめていただいたというのが正直な感想です。本当にお疲れ様でした。

私は前回もお話したかと思いますが、高齢者の健康づくりの意識というのが高まっていると感じる一方で、子どもたちがあまり外に出なくなった姿や、外にいてもゲームで遊んでいるような姿をいつも心配しています。この計画は12年間使われるわけですが、この12年間の間に子どもたちを取り巻く環境というのも、変わってくるのではないかと思います。例えば久喜市も例外ではないと思いますが、少子化によって学校の統廃合等が進みます。そうすると、校舎や校庭など使用していないところも出てきます。そのあたりをどう久喜市で活用し、健康づくりにつなげていけるか、子どもたちにどんな形で開放したら、子どもたちが喜んで外に出てくるのだろうか、そういった発想で、長期的なスパンでみていただくと良いと思います。

もう1点は、中間評価の段階で見直しする際に、具体的な効果的な方法が見つかったときには、柔軟に進めていけるような発想を持っていただけると良いと思っています。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。では、富田委員お願いいたします。

富田委員

私事ですが、2月末に要介護4の母が施設でコロナ陽性となり、施設から自宅で見てくれと言われ、自宅に帰ってきました。1週間経過し、私も仕事があるので、また母は施設に入所しましたが、母の姿を見て、食べるのが大事だと身をもって感じました。私自身、来年60歳になりますが、食べられなくなったらもう生きられないと本当に感じます。

富田委員

ただ自分自身この10年間で色々なところで身体に支障をきたしているし、仕事にかまけて運動もしてないと色々と考え、本当に生きるということについて考えさせられることが多いです。普段の食がしっかりしていないといけないし、それが本当に毎日の1食1食の積み重ねが体を作っていくし、これからどうなっていくのかと感じています。

また、年明け早々に地震がありました。私は野菜ソムリエという資格を持っておりませんが、災害調理の依頼があったので袋の中でご飯を炊いたり、汁物を作ったり、何か普段から機会があれば子どもたちに広めて、自分でも料理を作るという楽しみを伝えられたらと思うようになってきました。お金を出せば災害のときも食事のことはやってくれるから良いといった方がいらしてびっくりしました。自分で努力するということが考えなくなってきていて、市にお願いすれば良いとか、市、自治体はその食事を運んでくれるからとか、依存心が強すぎます。食育については、自分のことは自分でやる、本当に生きていくための基本のところを何かの形で、母親の立場で、妻の立場で、何かできたらと思っています。私も久喜市での取組みに対して、もっと積極的にお手伝いできることがあればと思います。本当にこれからの子どもたちはどうなってしまうのか、これから災害も多く色々なことがあり、思いもしないようなことが起き、マイナスなことばかり考えてはいけませんが、食の大切さや命の大切さを伝えられたら良いと思っています。

また地震も最近多く、これから災害もくるということも考えて、普段のことから学べること、自助努力で出来ることなど、何かできたら良いと思っています。話がまとまらないところがありますが、何かまたお手伝いできたら良いと思います。ありがとうございました。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。では、三澤委員お願いいたします。

三澤委員

区長会から代表して参加しました。今回で2回目の参加です。私も色々と会議には出ておりますが、計画策定の途中からということで、なかなかわかりにくいテーマという第1印象でした。

行政に関わっているものとしまして、2点ほど確認させていただきたいと思います。まず1点目ですが、よく「子ども食堂」と言われておりますが、子ども食堂の数が久喜市内ではどのくらいあるのか、また、市はどのように関わっているのかということをお聞きしたいです。また、

三澤委員	特に区長関係、民生委員と一緒に「いきいきサロン」を運営されているようですが、この数を把握していれば教えて欲しいと思います。わからなければ結構ですが、いずれについてもお答えをいただきたいと思いますのでお願いいたします。
議長（石崎会長）	はい、ありがとうございます。こちらのご質問につきましては事務局よりご説明をお願いいたします。
事務局(加藤主幹)	<p>はい、まず1つ目の「子ども食堂」につきましては市のホームページに掲載をさせていただいております、そちらに掲載されている数としては9ヶ所ということになります。</p> <p>また、「いきいきサロン」につきましては数は把握しておりませんので、今この場ではお答えしかねます。申し訳ございません。</p>
三澤委員	子ども食堂は、事業所と市の関わりというのがあるわけですか。
事務局(加藤主幹)	子ども食堂につきましては、市の子ども未来課で担当しております、例えばフードドライブやフードポストを設置し、市民の方からいただいた食材を子ども食堂の方にお引き渡しするといったお手伝いをさせていただいております。
三澤委員	はい、わかりました。ありがとうございました。
議長（石崎会長）	はい、ありがとうございました。では、渡辺委員お願いいたします。
渡辺委員	スポーツ少年団から参っております。スポーツ少年団の子どもたちの数そのものはそんなに減ってはいませんが、小学生の何割何%の子どもがスポーツ少年団で活動しているかいうと、久喜市は比較的高いと言われ、10人に1人以上、約16%程度だと聞いております。しかし、それでもなかなか増えないと感じております。例を挙げますと、野球部会は、久喜市の合併当時は19団ありましたが、今や10団に減っています。なかなか団数が増えない状況で、野球以外にも子どもたちの興味のある色々なイベントをどんどんやっていますが、なかなか周知できておりません。ホームページがある団も12団のうち半数に満たないで

渡辺委員

す。告知の仕方も悪いと思っています。それは市のイベントや関連イベントでも同じですけども、やはりデジタル化が叫ばれている昨今ですので、SNSを活用したイベントの告知だとか、集客をもう少し進める時代だと思います。だから私もキーワードでいうと、「デジタル化」が叫ばれると考えております。以上です。

議長（石崎会長）

はい、どうもありがとうございました。倉持委員お願いいたします。

倉持委員

私が一番気にしていることは、人生の中における健康管理です。健康管理については市で行っている特定健康診査があります。1年に1回、データを確認しておりますが、数値目標が60%とあります。実は最近私の同年代の人間が病気を発症し、大体3ヶ月で亡くなっています。非常に早いです。暮れに手術をして、そのあと年末年始に家で休んでいたところ、むくみが出てきて水分がたまってしまう、2月に亡くなってしまった方がいました。学校の先生ですが、71歳でした。また、66歳で亡くなった方もいましたが、抗がん剤が合わないと話しており早く亡くなられました。このような経験もあり、特定健康診査の現状値が40.5%は良い数値なのか悪い数値なのかわかりませんが、せめて年に1回は健診を受けて病気の予防をして欲しいと思い、この現状値が最低でも目標値の60%程度には達して欲しいと思っております。もう1つは、88ページに「地域の仲間と健康づくりに取り組みます。」と書いてありますが、地域差があり、先程話題にあがりました「ふれあい・いきいきサロン」に関しても、やっているところとやっていないところがあります。私の自治会はやっていますが、毎回同じ内容では仕方ないので、手品等色々なことをやって、午後の2時間から3時間やるのに大体20人ぐらい来ています。健康づくりや健康体操とか、色々なコミュニティセンターや商工会の事務所の会議室を借りてやっておりますが、久喜市が合併してもう10年を超えていますので、地域差をなくして積極的に健康づくりをしたいです。私たちは9,000から10,000歩毎日歩いています。歩けなくなったらもう何もできなくなってしまうので、こういった健康づくりをもっと積極的に取り組む方策を挙げさせていただきたいと思っております。以上です。

議長（石崎会長）

はい、どうもありがとうございました。盛永委員お願いいたします。

盛永委員

最近興味があるのは、がんのことです。身内が1月28日にがんで亡くなりました。76歳でした。発症してから3年。最初はわかりませんでした。実際には食道がんでしたが、当初は胃がおかしいと言うので一生懸命胃薬を飲んでいましたが、良くなりません。そのうちに食道がだんだん詰まってきて、コーラを飲んだときに苦しくなったので病院に受診したところ、食道がんでした。その時にはステージ4であり、手術ができないため、抗がん剤で治療しようということになりましたが、どれも抗がん剤は駄目でした。抗がん剤で体が良くなれば良いのですが、がん患者の体をどんどん蝕んでいきました。痩せていきます。60キロあった体重が30キロになりました。そこで、私はこのがんの啓発をもっとたくさん行って欲しいと思っております。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございました。では天海委員お願いいたします。

天海委員

食改善の活動を行っております天海といいます。とてもよくまとめられた素晴らしい計画だと思います。おそらく、厚労省の指標だと思えますが、健康日本21の第3次において、塩分の摂取量が7.0グラムとなっていました。男性と女性との体格差があるので、私たちの活動の中では、男性が7.5グラム以下、女性は6.5グラム以下としておりました。この計画にも7.0グラムとありますが、やはり健康日本21を参考にとということでしょうか。

事務局(加藤主幹)

はい、こちらの計画の基になっている国の方の指針、計画というのが健康日本21になっておりましたので、そちらに合わせております。

天海委員

わかりました。ぜひ皆様、女性の方は6.5グラムを目標にお考えいただきたいと思います。少し体格差があるので、そこを目標にさせていただくとありがたいと思います。

1つポイントがあります。余分に味付けをしないということで、食卓にお塩やお醤油を置かない、出てきた料理はそのままで食べるということをご心がけていただく。少しプラスアルファで加えてしまうと、その積み重ねで塩分摂取量が多くなっていくので、そこに気をつけて実行していただければと思います。

また、67ページの市の取組みですが、市の機構改革が令和6年4月

天海委員

からということで、ここに記載のある所管課というのは、令和5年度の組織体制という理解で良いでしょうか。

事務局(加藤主幹)

今回お配りした資料3は、新たな令和6年度の組織体制で記載しております。例えば67ページに「地域保健課」とありますが、こちらは保健センターが令和6年度から地域保健課に変わりますので、その名前に修正しております。

その他、67ページで言えば「保育幼稚園課」とありますが、保育園に関連する業務を行っていた保育課と、幼稚園に関連する業務を行っていた学務課の業務を統合し、保育幼稚園課となります。これは一例ですが、令和6年度は大きく組織体制が変わる部分がございますので、それに合わせて担当課の方は修正しております。

天海委員

はい、わかりました。菖蒲と鷺宮は保健センターがなくなり、旧久喜市と栗橋が残ると聞いております。菖蒲地区と鷺宮地区に関しては久喜と栗橋で担当するとお聞きしましたが、委託事業の数も減っているような気がするので、取りこぼしがないようにやっていただきたいと思いません。菖蒲地区に住んでいる方から若干不満が出てきておりまして、活動する場所がなく、さらにその機能もなくなったら私たちはどこに行けばいいのかといった話もお聞きしました。

また、先ほどSNSの活用という話がありましたが、骨チェックは人気なのですぐ集まりますが、健診(検診)や様々な事業を行っても、なかなか人が集まらないと聞いたことがありました。蓮田の食改善の活動をしている方にお聞きしたら、LINEを活用すると集まるということだったので、ぜひそちらの方ももっと活用していただきたいと思いません。以上です。

議長(石崎会長)

はい、どうもありがとうございました。では、伊藤委員お願いいたします。

伊藤委員

私は校長会を代表してきております。計画を色々を見せていただいて、子どもの健康、食というところでは給食課が中心になっており、食育の方がメインになっております。栗橋小学校では、学校職員として栄養教諭がおります。栄養教諭は食育に対して子どもたちにたくさん発信

伊藤委員

をしてくれており、やはり食は大切だと考えております。

また、運動量に関しても、どれも子どもたちに直結するものばかりです。先ほどのスポーツ少年団のお話にもありましたが、スポーツ少年団やそういうところで活動している子は、それだけでも運動していると思いますが、授業以外の運動習慣ということになりますと、本校でも極端に二極化していると思います。また、前回の会議の際にもお話しさせていただいたかもしれませんが、冬ですと、比較的風が強くても、子どもたちは元気に外に行って遊んでいるという様子がかえませんが、夏になると熱中症対策ということで、冬と比較すると、むしろ夏の方が外に行って遊ぶのが危険ということで、運動習慣が低下する印象です。これからの時代は、子どもが自発的に健康に運動するにはどういう環境を整えてあげたら良いのかということも感じました。

また、本日の会議では挙がっていませんが、自殺について小学校はあまり関係ないとみられる方もあり、中学校では授業で取り上げるということはしています。今年度の職員の研修で、本校では自殺に対して、まずは職員が研修もさせていただいて、どのように子どもたちのメンタルをケアするか、明るい未来に希望を持っていけるようにと考えております。これからの時代は、心の健康を本当に考えていかなければいけないと思っております。これは直接ではなくとも、不登校児童の話にも繋がっていきます。この計画はすごく丁寧にまとめていただいておりますので、この計画を確認し、校長としてどのように子どもたちと関わって、どのような指導して、職員とともにどのように子どもたちを育てていったら良いかを考えるきっかけにさせていただきました。ありがとうございます。

議長（石崎会長）

はい、どうもありがとうございました。では、上岡委員お願いいたします。

上岡委員

歯科医師会の上岡です。私もこの冊子を拝見させていただきました。私も初年度から委員にさせていただきましたが、大分目標値も良くなってきていると思っております。歯科に関して達成可能と思われる項目は8020（ハチマルニイマル）運動があります。

また、先ほど保健センターの統合という話がありましたが、私も鷺宮地区なので疑問に思うところがあります。健診事業はそのまま存続とい

上岡委員

うことで健診はできますが、その他の相談事は中央保健センターの久喜と栗橋ということで、なぜ栗橋になったかというのが疑問の1つで少々腑に落ちないところがあり、驚宮を残して欲しかったと思っております。我々は健診事業に協力しているわけですが、1歳半、3歳、妊産婦、成人など色々とやっておりますが、やはり子どもが一番気になります。健診の際、最近ではむし歯はほとんどないです。1歳健診、1歳半健診、3歳健診でも、健診した時点で、むし歯がある、もしくはひどいむし歯があるというのはほとんどありません。今問題になっているのがネグレクトという問題が非常に多く、むし歯が多いお子さん、そういったお子さんは特に注意してください。今、診療所にかかってもお子さんはお金がほとんどかからない状況です。やはり親に何か問題があるのではないかと思います。ひどいむし歯とか磨いてないとか、そういった点でネグレクトがないか、我々は最近注意してみるようにしていますが、中学校、小学校とも私は診ておりますが、ほとんどむし歯はありません。一番問題なのは歯周病と歯並びのことに關しての相談が多いです。よろしくお願ひしたいと思ひます。

もう1点ですが、歯科医師会は中央保健センターに事務局を開設することになりました。4月から相談事等ありましたら、歯科に關してはお答えできると思ひております。拠点となるところでございますので、この地域の訪問をしてもらいたい等ありましたらご連絡いただければ幸いです。

議長（石崎会長）

はい、どうもありがとうございます。では、奥川委員お願ひいたします。

奥川委員

社会福祉協議会から参りました奥川です。前回から参加させていただきましたが、パブリック・コメントや皆様の意見が反映されこの冊子にまとまったということで、すごく良かったと思ひました。社会福祉協議会としましても、高齢者の關係で地域包括支援センターを受託していたり、相談機能を持っているので、またこの計画を行政の皆様と一緒に今後も作り上げていけたら良いと思ひております。

また、市民の皆様健診（検診）やイベント等に参加していただけるように、私たちがなかなか周知がうまくいなくて苦勞しているところではあるのですが、周知の方法など一緒に学んでいけたらと思ひており

奥川委員

ます。ありがとうございました。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。では、榎本委員お願いいたします。

榎本委員

久喜商工会の榎本と申します。商工会としてというよりは、個人的な感想、意見にはなりますが、108ページの自殺の部分についてです。久喜市は、年齢層が高い方に自殺者が多いということで記載がありますが、全国では小中高生の自殺者が過去最多となっておりますので、今後検討していく中で、自殺に対する子どもや若者がアクセスしやすい、子どもの目線に立った政策や支援がもう少しあっても良いと感じました。全国で小中高生の自殺者が増えているということもあり、久喜市も例外ではなくなると考えますし、また大人と同じような方法では、なかなか効果が出てこないのではないかと思います。私が見た限りですと、19歳以下の自殺の原因というのは、いじめとかではなく、学業不振、失恋、子ども特有の悩みによって命を落とすということがかなり多いと聞いています。スクールカウンセラーも今は3万ヶ所以上設置されているようですが、なかなか悩みを抱えた子どもが利用するに至っていないというのが現状で、今後、計画の作成にあたっては、もう少し子どもの目線を入れても良いと感じました。以上です。

議長（石崎会長）

はい、ありがとうございます。新井副会長お願いできますでしょうか。

新井副会長

はい、今回のこの計画案ですが、前回の計画から引き継いで整合性を図りながら、素晴らしいプランを立てていただいたのではないかと思います。医師会から来ておりますので、皆さんからお話のあった検診について、少しお話をさせていただこうと思います。

がん検診、非常に重要です。胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん等検診はありますが、日本人ではピロリ菌の数が減っていたり、除菌が進んでいます。B型肝炎、C型肝炎の患者さんも減っています。また、喫煙率も減っています。そういった中で、がんの出方が変わってきています。先程、がんに関する大変残念なお話を伺いましたけれども、食道がんの検診はございません。公的な検診を受けていても、食道がんが見つかる可能性は残念ながら少ないです。食道がんはかなり

新井副会長

壁が薄いので、すぐ外へ出てしまいます。進行しやすいので、かなり病気が進んでから見つかるという患者さんが多いのが実状です。例えば膵臓がんや腎臓がんも検診がありませんので、どうしても見つかりにくいがんになります。このため、今の公的な検診だけではなくて、いわゆる人間ドックというのを自費で受けたり、少し補助が出たりするところもありますので、そういった制度を利用していただくことがありますし、がん検診そのものも、国全体の話になりますが、やり方を見直す時期に差しかかっているのではないかと思います。

また、特定健康診査に関しましては、確かに受診率が非常に低く、もっと皆さん受けていただきたいと思います。私は糖尿病専門でやっておりますが、こんなに状態が悪いのにお年が60数歳で、今まで20年間健診を受けてきませんでしたという方がたくさんおられます。そういった方への発信が非常に重要です。近年の全般的な話になりますが、若い方も40歳になるとみんな健診を受けてくれるかというところほとんど受けられません。SNSの発信も非常に重要ですが、さらに今の若い人たちは得がないとやらないという印象です。その時間を健診に割いたことによる得がどのくらいあるのか、或いは、それはお金の面だけではなく、例えば写真映えするとか何でもいいのですが、そういった得がないとなかなか健診に振り向いてくれないというところがありますので、発信の仕方が非常に難しくなっており、色々のご検討いただきたいと思います。以上です。

議長（石崎会長）

事務局より補足があるということですのでお願いいたします。

事務局(真坂部長)

はい、失礼いたします。今、委員の方々からのご意見として、鷲宮と菖蒲の保健センターがなくなるという発言をいただきましたので、少しだけ補足説明をさせていただきたいと思います。

これまで保健センターの職員を4つの保健センターに配置しておりました。来年度からは児童福祉の業務を行っていた子どもの部署と、保健センターで業務を行っていた子どもの母子保健係を統合し、こども家庭センターの設置という国のガイドラインに沿って、こども家庭保健課という組織を再編いたしました。このような状況で、成人保健をやっていた職員と、母子保健をやっていた職員が離れ、各保健センターにいる職員の数が減ることとなります。少ない人数で各センターに職員がそれぞれ

事務局(真坂部長)

れいと、事務が円滑に進まないことがあるため、中央保健センターと栗橋の保健センターに職員を置くことになります。そして、保健センターそのものは4ヶ所残り、事業は4つの保健センターで継続をしていきます。職員が常時いる場所は中央保健センターと栗橋保健センターの2ヶ所になりますが、事業のときには各センターに出向いたり、家庭訪問など地域の皆様に呼んでいただければ、保健師たちも今まで通りに活動し、出前講座などもやらせていただきたいと考えております。皆様に対して、その保健事業の質が低下するようなことのないよう、きちんと仕事をして参りますので、是非とも、これから皆様のお力添えをいただきまして、どんどん保健師が外に出ていけるようにしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

議長(石崎会長)

はい、ありがとうございました。

また、委員の皆様方からも貴重なお言葉をいただきまして、どうもありがとうございます。

計画はここからが真のスタートとなります。この計画がいかに取り組みられていくか、そしてその進行管理をどのようにしていくかというところが、12年間という長期にわたる計画ですので、非常に重要なところと改めて感じました。その上で、皆さんがおっしゃっていたご自身の健康への思いや健康づくりのこと、また、各ご所属団体でのご活動、取組みにおける課題や上手くいった事例など、次年度以降の会議ではぜひ共有していきながら、この計画をどう推進していくかを話し合えるような場にしていけると計画が生きたものになっていくと感じました。

来年度からは市の組織が再編されて所管課も変わりますが、大きな計画の動き出しとも重なります。計画がうまく機能するように、ぜひ皆様方のお力添えをいただきながら、進行管理についても審議が深められれば良いと思えます。

地域格差についてのご発言も何人かの委員様からありましたが、既存の施設がなくなることによって集まる場が減る、それがデメリットになるのか、上手く新しいことをしていく機会になるのか、我々自身も自分事として前向きに考えていくことが必要と思ひながら伺っております。今後ともぜひ皆様方からの意見をお願いしたいと思えます。

では、事務局からその他補足、ご説明等ありましたら、お願ひいたします。

事務局(加藤主幹)

今回最終案で計画をお配りしておりますが、今回完成形を印刷するというは考えておらず、市のホームページで公開をさせていただく予定でございます。

ただ委員の皆様には第2次計画のような綺麗な形で製本したものではありませんが、こちらで印刷したものを後日お送りさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

議長(石崎会長)

はい。ただいま計画の公開方法につきましてご説明がございましたが、皆様方からご意見やご質問等はございますか。よろしいでしょうか。

では本日本日予定しておりました議題を終了させていただきます。もしご発言できなかったご意見等がございましたら、この後事務局までお寄せいただければと思います。

本日は長時間にわたりまして、委員の皆様にはご協力いただきありがとうございました。ここで議長の任を解かせていただきます。

司会(渡部課長)

石崎会長、委員の皆様、どうもお疲れ様でございました。

この審議会の皆様のご多大なご協力によりまして次期計画をまとめることができました。改めて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

令和6年度は計画の進捗状況のご報告と、それに対しますご意見等をお伺いすることが主な議題になって参ります。また、来年度は年3回会議を予定しております。

日程は現時点で未定ですが、近くなりましたらご案内をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは閉会のご挨拶を新井副会長からお願いいたします。

新井副会長

5 閉会

(副会長あいさつ)

司会(渡部課長)

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第4回久喜市健康増進・食育推進会議を散会とさせていただきます。大変お疲れ様でございました。どうもありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

2024年 4月 16日

久喜市健康増進・食育推進会議 会長 石崎 順子

審 議 会 等 会 議 録